

参加と協働のまちづくり条例骨子・構成案に対するグループインタビュー			
実施日	平成 20 年 12 月 7 日（日）	実施場所	役場 2 階 第 1 会議室
参加団体	さくらメイト	参加人数	10 人
活動概要	町内行事へのボランティア参加など、まちづくり活動全般 ※クラブ活動…パソコンクラブ、ブロッコリーの会、企画部、さくら連		
主な意見の概要			
<p>■地域の意識改革も必要について</p> <p>○「協働」という言葉が頻繁に出てくるが、この言葉はもともとある言葉か、造語か。</p> <p>○各地域に健康推進員が置かれ、活動を展開しているが、ほとんどの人が「やれといわれて」やっている状態。協働とはそういうものではない。地域の人々の意識改革をどう進めるかも課題。</p> <p>○今までのような、行政に補助してもらって当たり前という意識が根深い。</p> <p>■自治組織（行政区）の在り方は今後の課題</p> <p>※地区懇談会で寄せられた意見等を紹介</p> <p>○地域によってはとても保守的であり、そういう地域では、地区懇談会があったとしても女性が出席して、ましてや意見を言うなんてことはできない。今回の教育長問題も、どうしてこのような事になるのか、意見を言いたかった。</p> <p>○もっと若い世代が意見を言い、行動できるような体制に変わらないといけない。</p> <p>○中沖地区では、アパートの入居前に、建て主と話し合い、建て主が一括で区費を徴収し支払うルールをつくっている。</p> <p>○河北区でも同様。新たにマンションが建設されたが、代表者が区費をまとめて支払ってもらっている。</p> <p>○当番で役が順番にまわるが、「オレはこういうことはやりたくない、やらない」と言って引き受けない人がおり、また、それで済まされていく。これも問題。</p> <p>○区長も 1 年限り。副区長を設けて、複数年、区の運営に携われるようにできると良い。</p> <p>○地域でも人を育てないといけない。ただ、慣例というものがあって、これがなかなか崩せない。</p> <p>○地域内の世代交代を上手に進めていく必要がある。もっと若い人が意見を言えるように。</p> <p>○こうしたことは、この条例が定められるとやりやすくなるのではないか。</p> <p>■条例の骨子・構成案について</p> <p>○全体的な感想としては、条例の考え方に問題はない。</p> <p>○これを見て、私たちは何をすればいいのか、何か私たちの活動で問題が起こったときどうなるのか、そうした具体性が分からない。</p> <p>○提案フォーラム等は、この制度が逆にとられて、クレームのような内容のものがたくさん出てくる心配がある。</p>			